

Patent Application Publication
S25-3045

Title: Mist-Spraying Equipment for Textile Mill

Nature and Purpose of Invention

This invention is a mist-spraying equipment for textile mill wherein pressurized air vent is introduced into warm water tank, heating the pressurized air while at the same time mixing water vapor from the warm water tank into the pressurized air, and this is drawn out to a misting sprout, while the warm water from the tank is also drawn out to the misting sprout. The purpose of this is to warm the factory during the winter, and also to maintain favorable humidity, thus maintaining the required temperature within the factory and also contributing to the workers' health and efficiency.

特 許 公 報

昭25-3045

公告 昭 25.9.30 出願 昭 24.9.27 特願 昭 24-9828

出願人 發明者 根 木 睦 雄 濱松市上池川町132
代理人 辨理士 林、田 義 根

織 維 工 場 の 噴 霧 装 置

發明の性質及目的の要領

本發明は壓搾空氣管を溫水罐内に導入し壓搾空氣を加熱せしむると共に溫水罐内の水蒸氣を混合し之を噴霧嘴に導き且該溫水罐内の溫水を該噴霧嘴に導くことを特徴とする纖維工場の噴霧裝置に係り其目的とする所は冬期工場内の溫度を高むると共に噴霧條件を良好となし工場内の所要溫度を充分保持し得べからしむるのみならず勤務者の保健に有效ならしめ且勤務能率を昂上せしめんとするに在り

圖 面 の 略 解

圖は本發明實施の態様を示し各要部を縦斷せる説明圖なり

發明の詳細なる説明

本發明は壓搾空氣管を溫水罐内に導入し壓搾空氣を加熱せしむると共に溫水罐内の水蒸氣を混合し之を噴霧嘴に導き且該溫水罐内の溫水を該噴霧嘴に導くことを特徴とする纖維工場の噴霧裝置に係り之を圖に就き實施態様を説明すれば1は溫水罐若くは低壓ボイラー2は爐3は煙突4はロータリーコンプレッサーにして纖維工場にては普通10封度毎平方吋内外の低壓のものを用ふ5は壓搾空氣の導管にして爐内を通り溫水罐1底部より罐内に導入し溫水中に於て加熱さるゝ様導管5を横に分岐せしめ且上端に有底帽蓋7を付し該帽蓋7底部より下方に向ふ數本の吹出管を設け溫水6中に吹出さしめ空氣の加熱及蒸發を誘發せしむ8は溫水罐1より發生する水蒸氣を混入せる壓搾空氣の導管にして噴霧器9に連る、10は溫水罐1より溫水6を導く導管にして同様噴霧器9に連る11は噴霧嘴なり噴霧器9は工場内適當位置各所に設置し其

數に應じて溫水罐1の大きさ及コンプレッサー4の大きさを撰定するなり

コンプレッサー4よりの壓搾空氣は溫水罐1内に導入され爐2中にて加熱さるゝと共に溫水罐1内にも溫水の爲め加熱されて100度近くの溫度となり罐内にて發生されたる水蒸氣と共に導管8を通りて噴霧器9に至り溫水罐1よりの溫水6は下部の導管10より噴霧器9に至り噴霧嘴11より噴出さる

從來此種噴霧裝置に於ては冷水其まゝを常溫の壓搾空氣にて噴霧せしめたるを以て工場内の空氣溫度は之が爲め上昇することなく寧ろ發熱の爲め低下するを免れず且又工員は冷霧を浴びる爲め健康を害する等の缺點ありたる然るに本發明の裝置とすれば溫水並に壓搾空氣は100度内外の溫度あり之が導管を工場内に敷設するを以て暖房用となり且噴霧あ溫きを以て工場内は溫度上昇し作業能率を昂上せしむるのみならず溫水を溫壓搾空氣にて噴霧するを以て霧の状態は普通より一層微細となり絲織物等に惡影響を與ふることなくして所要の任意の溫度を完全に保たしむることを得るなり且又工員に對する保健上の問題に於て從來の裝置にては冬期暖房裝置を施しても冷霧を浴びる爲め感冒に罹り易きも本發明裝置に於ては其患完全に除かれ纖維工場に於て最も多き結核患者の數を激減せしむることを得べく工員衛生上大なる貢獻を爲し得ることは本發明の大なる長所と言ふべきなり

上述の如く纖維工場に噴霧裝置を要する場合本發明の如き裝置とせば上述の如き大なる效果を生じ其による利益は設備費維持費に比し莫大なるもの

(2)

特許出願公告
昭25-3045

あり夏期等には加熱を中止して其儘使用し得る利
點をも併せ有するものなり

特許請求の範囲

本文記載の目的を以て本文に詳記し圖面に示す如

く壓縮空気を温水罐内に導入し壓縮空氣を加熱
せしむると共に温水罐内の水蒸氣を混合し之を噴
霧嘴に導き且該温水罐内の温水を該噴霧嘴に導く
ことを特徴とする纖維工場の噴霧装置

